

「大槌金沢金山之図」
制作に迫る

金山を

開発せよ

令和7年

8/9(土) ↓ 10/26(日)

会場／もりおか歴史文化館 2階企画展示室

開館時間／午前9時から午後7時 ＊入場受付は午後6時30分まで
観覧料／一般300円、高校生200円、
小・中学生100円、団体(20人以上)は各2割引

＊盛岡市内在住で65歳以上の方、小・中学生のうち盛岡市在住・就学の方は無料

＊障がいをお持ちの方やその介護をされる方(障がい者1人につき1人まで)は無料

＊会期中の休館日は、8月19日◎、9月17日◎、10月21日◎

＊会期の前半(8/9～9/16)・後半(9/18～10/26)で「大槌金沢金山之図」の場面替えを行います。

もりおか歴史文化館

Morioka History and Culture Museum 活性化カーブ
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号
Tel. 019-681-2100 <https://www.morieki.jp/>



金山を開発せよ



当館には、江戸時代に産金を誇った金沢金山（岩手県大槌町）を描いた12mに及ぶ長大な絵巻が残されています。絵巻には、金の採掘から製錬に至るまでの一連の作業が詳細に描かれており、江戸時代の鉱山技術や金山で生き生きと働く人々の様子を知らることができる貴重な資料です。

江戸時代前期に見えられた金沢金山は、江戸時代後期に再開発が見込まれると、江戸幕府の役人が何度も調査に訪れました。これを契機に盛岡藩は金沢金山をはじめとする金山の開発プロジェクトを立ち上げますが、良質な鉱脈の探索、江戸幕府から開発資金を獲得するための交渉など多くの困難が立ちました。

本展では、金山開発の実務を担った一人の盛岡藩士が記した日記などから、金山開発の経過や開発に挑んだ人々の様子を読み解き、「大槌金沢金山之図」の制作者・制作年代・制作背景を探ります。そこには、なぜ金山開発が行われたのか、盛岡藩における金山開発の意味が浮かび上がるはずです。

大槌金沢金山之図

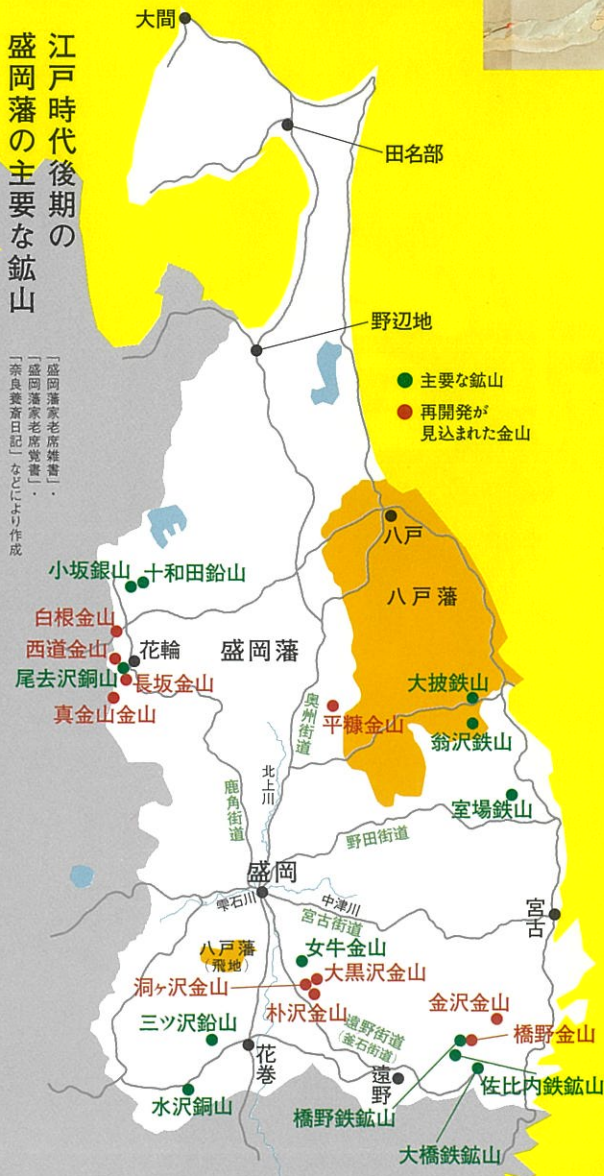


* 会期の前半(8/9~9/16)・後半(9/18~10/26)で場面替えを行います。

令和7年
8月9日(土)
10月26日(日)

江戸時代後期の
盛岡藩の主要な鉱山

「盛岡藩家老席巻書」・
「盛岡藩家老席巻書」・
「奈良義典日記」などにより作成



関連企画

① ギャラリートーク

- 日時／8月23日④ 13:30~14:30
- 会場／当館2階 企画展示室 ※当日自由参加(要入場料)
- 内容／担当学芸員が展示解説を行います。

② 企画展案内所

- 日時／9月21日④ 11:00~12:00 / 14:00~15:00
- 会場／当館2階 企画展示室入口付近 ※当日自由参加
- 内容／担当学芸員が企画展に関する質問等にお答えします(お1人10分程度)。

③ れきぶん講座「盛岡藩士奈良宮司と金沢金山」

- 日時／10月18日④ 13:30~15:00
- 会場／当館1階 研修室
- 定員／30名 ※事前申し込み制(往復はがきor応募フォーム)。9月26日④必着メチ
- 内容／展示で紹介しきれなかった金山開発の実務担当者である奈良宮司の苦闘をお話します。
- 講師／担当学芸員

④ 日曜限定イベント／金山を探索せよ

- 日時／会期中の毎週日曜日 10:00~12:00 / 14:00~16:00
- 会場／当館2階 企画展示室 ※当日自由参加(要入場料)
- 内容／「大槌金沢金山之図」の写真で作成した缶バッジ(全12種)をプレゼントします(お一人1日1個)。缶バッジの絵柄が絵巻のどこに描かれているか探してみましょう。

〒020-0023
岩手県盛岡市内丸1番50号
Tel.019-681-2100
<https://www.morireiki.jp/>



もりおか歴史文化館
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

「大槌金沢金山之図」
制作に迫る

